



本紙は三ヶ月に一回、郵政省に届け出ている。発行所は石城郡平町。電話は三三三三。印刷所は石城郡平町。電話は三三三三。日曜紙は石城郡平町。電話は三三三三。

一月中の産米 検査は八千餘俵

品質は極めて悪い

穀物検査所平支所の一月間に於ける産米検査は農業倉庫入庫米三千二百十九俵一般米四千七百三十二俵合計八千二百俵であるが検査の結果に就て安島支所長は「品質は極めて悪い」と語る

四四四はおよしよ 四五七はよいな

石城政友が電話番號で御幣を擔いだ一幕

勝負事は兎角御幣を擔いだがるものであるがこの總選挙で平町石城政友俱樂部に擔がれた御幣話石城政友には俱樂部と名づける程大きな建物をもち合せなかつたので今度の選挙で平町南町に大きな某購買問屋のガランとした空家を借り受けたか電話の設備がなく甚だ不便を感じた結果何んの氣なしに「四四四」番といふ電話を借りる事になつたところが「四四四」はおよしよといふ意味に通じ

駒場氏の寄附

平町町駒場四郎氏は舊正月に際して餅代にも困つてゐる人々に與へて下さいと一日金五十圓を平人事務相談所へ寄附した

高田農林次官を招き七日から大遊説

石城民政比佐派の陣容 吾が黨政策を高調

石城民政黨では今般比佐昌平氏の選挙に際し通信、宣傳、情報、監視、遊説の各部を設置し黨勢擴張を行ふこととなつたが中にも遊説部に於ては民政公認候補比佐昌平氏の爲めに奮闘すべく町立各學校の講堂を貸與する事に大体決定して居るが平町各私立學校でもこれならう方針である

學校の講話

候補者に貸與決定 平町では今回の総選挙に就て各候補者の演説會場として町立各學校の講堂を貸與する事に大体決定して居るが平町各私立學校でもこれならう方針である

松本候補が断念した理由

信用銀行頭取の爲 第三區相馬双葉兩郡を地盤とする政友會前代議士松本孫右衛門氏が突然立候補を断念したことには就き同會某幹部は

民政部會で違反摘發料進呈

石城民政黨部會では二日午前十時から南町俱樂部樓上にて支部委員會を開催選挙違反の結果選挙違反防止の一策として違反摘發料に對し一件十圓宛摘發料を與へる事

町民から賛成調印を

平町の電燈値下げ 町民における電燈値下げ問題に委員中に稍々軟化した者は現はれたので値下同盟會では非常に狼狽し善後策を講じてゐたが昨日二日から同會の名によつて町民全部から賛成調印を求め取敢ずるを會社側に送つて目的の貫徹を計る事となつた

石城政友の演説會日割決定

五日鹿島村を皮切りに 大舌戦愈々展開されん

○二月五日	鹿島小學校
○六日	飯野 同
○七日	高久 同
○八日	豊間 同
○九日	夏井 同
○十日	江名 同
○十一日	泉 同
○十二日	小名公會堂
○十三日	玉川 同
○十四日	警崎 同
○十五日	赤井 同
○十六日	小川 同
○十七日	平窪 同
○十八日	好間 同
○十九日	内郷 同
○二十日	湯本三國座
○二十一日	平町聚樂館
○二十二日	永戸小學校
○二十三日	澤渡 同
○二十四日	合戸 同
○二十五日	中三坂 同
○二十六日	草野 同
○二十七日	大野 同

小泉樓で

遊客の殺人騒ぎ

昨夜午後九時頃 平町番匠町洋傘修繕業松田八郎(二四)は二日午後十時ころ同町鎌田遊廓小泉樓に於て娼妓と相手方に遊樂をなしたが待過が悪いと暴れ出し果ては懐中から刀渡り七寸の短刀を取り出し皆殺しにする大亂暴を働いて居るのを平署員が取押へたが一時は大騒ぎであつた

田子健吉氏 今日來平

佐藤候補の打合で 第三區相馬双葉兩郡を地盤とする政友會前代議士松本孫右衛門氏の後登壇もらひたいと陳情したが同會から松本孫右衛門氏の後登壇として立候補に決定した支村の信用組合は一昨年から後場派信用組合派の二つに謀田子健吉氏は三日午前十一時五十分半驛着列車で來裏面には相當複雑な事情あつたが田子氏は同日歸郷陳情を非常に迷惑がつてゐる

渡邊村の農事講習會

石城郡渡邊村農會主催で同村小學校に本日三日より七日間農事講習會を開催するが其の日程及び講師は左の如くである

萬引犯人 青木今日送局

山なす書類と共に 稀代の萬引犯人双葉郡本戸村青木善吉(三九)に就ては引續き平署で取調へ中であつたが青木は犯行一切を白したので三日山なす一件書類と共に平検事局に送局された

信用組合を精査して呉れ

玉川村長等陳情 石城郡玉川村駒木根忠三氏外數氏は一日平町各種團體事務所地方産業組合主事尾形治右衛門氏を訪れ同村信用組合の内容精査をしてほしいと陳情したが同會から尾形治右衛門氏は一昨年から後場派信用組合派の二つに謀田子健吉氏は三日午前十一時五十分半驛着列車で來裏面には相當複雑な事情あつたが田子氏は同日歸郷陳情を非常に迷惑がつてゐる

キムテ 阿康藥店 電話四四番

取消……本紙 第三百四十六號及三百四十七號二面掲載の和久井屋漆器店廣告を全部取消致しす

人事 平町四軒町五番地 原谷藤一郎氏四男清死 平町堂ノ前一番地 鹽澤シゲ 平町町十七番地 金子角藏 平町番匠町四十番地 佐川貢

團體事務所落成 總工費三千七百餘圓を以て修築中だつた石城郡各種團體事務所もいよいよ落成したので四日落成式を舉行し直ちに元郡會議室の事務所から移轉することとなつた

戊辰戦役に於ける

平城戦闘經過 (六)

陸軍歩兵中尉 花澤文庫

此時に當り我右より連合兵の一部(約二十三人)は決然死を以て尼子橋を越へ敵の側背に出で猛射をなすと同時に小島村の民家に火を放ちて勢を助く此の猛襲は功を奏しては漸次退却の色あり須臾にして全隊崩壊を始め先を争つて谷川瀬の一路に集つて退却を始む我は勝に乗じ總隊一途に前進し砲兵は盛んに砲彈を送り之を援助す

して新川の線に至れば其の兵器彈藥散亂するあり又て兵一人を捕虜にす時に午後五時頃なり我軍追撃の議なかりしにあらざれども日没に近き故を以て凱歌を奏して城中に引き揚げ戦果を放棄するに至る

七月二日より同十二日に至る間は單に斥候隊者を放つに過ぎず同十二日午後一時頃情報に依り明十三日てきは大學して來襲するを知り應戦の準備をなす

明治元年七月十三日
朝來霧深くして咫尺を辨せず闇中に銃聲を聞くては陸前濱街道より尼子橋方面に又小名濱街道より新屋敷口に迫れるを以

平看護婦會

平町南町

て相對時す我軍は藥王寺臺、大館の高丘より大小砲を以て之に應ず然るにてきの一部は高坂村より鬼越を経て城の西方好

丸昇軒

電話四三九

間村より久保町に出て八幡神社附近を占領し學校門外より六間門を砲撃し彼我力戦頗る力む、又尼子橋を突破して研町方面より搦門に迫りたるをきし對し防戦大いに努められどもせん況我に利あり

体温計
寒暖計
電話四〇〇番

淋病と消渴に

濟リン

と云ふ最新藥の服用を御進め致します
胃腸を害さずきよめの良き事すでに服藥者の言より明です

四日分 金壹圓 八日分 金壹圓八拾錢

水野藥局

平町一丁目

進歩せる此療法を一度試して下さい

見ヨ緊縮時代ノ

家庭ノ福音!!!

大倉煉炭大好評

平町専賣ノ田印大倉煉炭使用材料ハ世界一ノ稱アル朝鮮電工無煙炭ニ專賣特許ノ大倉貯溜炭ヲ配合シタルモノナリ他ノ煉炭ト炊キクヲベ御使用下サイ火力強ク火持チノ長イコト在來品ノ比デアリマセン

尙又化學ノ力デドク瓦斯ヲ除イテアリマスカラ器物ヲ損ズル恐れガアリマセン然モ大倉貯溜炭ハ私ノ店ノ特約デスカラ地方ノ工場デ此ノ種ノ品ヲ造ルコトハ絕對ニ出來マセン何卒多少ニ不拘御用命下サイ

平町材木町ノ角

大倉 平專賣製造部

高田木炭商店

◎御子様ノ祝品賣出し

羽子板

破魔弓

スカノヤ提灯店

電話七二二番

洋食 美味で……お手軽
喫茶 紅茶、コーヒー、コ、ア
宴会 洋式でも日本式でも……
出前 迅速に致します

平町前通り

こんばる

電話六六六番

★動力使用最新

獨逸式製材機取付

製板製材
並びに諸建築
用材一式請負



増尾木工場

迅速! 丁寧! 安價!

平町仲町 増尾甚市郎

電話四六九番

サロンのパーには

何時も生ビールがあります
毎日變つた佛蘭西料理の御献立を
して御座います

ドーゾ御試食を

田町松月隣り

サロン

電話三五二番

男、女、給仕人数募集

金解禁後の

驚くべき破格の値下げ断行
特に此場合洋服調製を
お勧め致します

平町田町

大崎洋服店

電話七二三番

高久病院

電話五二三番

内科、小兒科 醫學士 高久 忠
外科、花柳病科 新潟醫學士 赤羽 清
耳鼻咽喉科 藥劑士 佐竹 菊雄
レントゲン科

エビハレ、ヤケド スズ化膿するものを
キリキズ、淋病、梅毒 靈藥ムテキ
乳ハレ、クサ、リ、マチス 切斷の苦しみなく治す

丹波博士創製 モキトメ

阿康藥店

平町古鍛冶町 電話四四番

▼獨乙ファンケル會社

製特用蓄音器、針着荷
第一、一本の針で五回も使用出来ます
第二、一本の針で高音低音自由
第三、舶來品として價格の安いこと
「ピアノ印」一箱(二百本入)五十錢
是非一度このピアノ印針を御試用願ひます
尚蓄音器の修繕は、安く良く早く
◎電話十九番へお掛け下されば早速お伺ひ致します

大谷時計病院

電話十九番